

お知らせ

□新規導入設備の紹介

平成26年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業により、以下の設備を導入しました。

○液体クロマトグラフ質量分析計

[用途]

食品中の糖、ビタミンなどの栄養成分、カテキン、イソフラボン等の機能性成分を測定します。

[メーカー・型式]

アジレント・テクノロジー(株)・Agilent 1260/6530

[仕様]

- ・液体クロマトグラフ部
最大流量:5 ml/min、耐圧:60 MPa、カラム温度:~80℃
- ・質量分析部質量精度:2 ppm以下、
分解能:20,000 FWHM以上



○有機酸分析計

[用途]

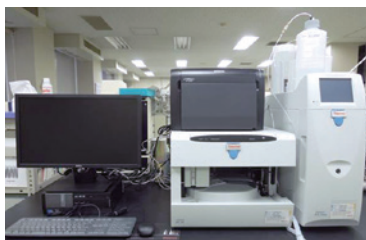
食品中の呈味成分である有機酸(乳酸、酢酸等)を測定します。

[メーカー・型式]

サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) ICS-2100

[仕様]

- ・有機酸の種類:有機酸成分11種類(ピルビン酸、クエン酸、リンゴ酸、ギ酸、乳酸、ピログルタミン酸、酢酸、コハク酸、プロピオン酸、レブリン酸、酒石酸)
- ・定量限界:乳酸の場合0.1 mg/L



□3Dプリンタ研究会

第4回造形分科会のご案内

<日時>平成28年1月29日(金) 13:30~16:00

<会場>石川県地場産業振興センター3階 第3研修室

<内容>

テーマ: 3Dプリンタを活用した生産現場の改善

講師: (株)リコー 新規事業開発本部

新事業推進センター AM事業室 丸田和弥 氏

内容: 3Dプリンタの特徴を考慮して3Dプリンタを使い分け、生産現場の改善・効率化に取り組んだ事例を紹介します。

問合せ先: 076-267-8082 (機械金属部)

□経営指導員研修会と興能信用金庫見学会を開催

近年、経営支援や金融機関において、企業の技術に対する「目利き力」を高めて、企業の成長を支援しようという動きが高まっています。



そこで、工業試験場に対する理解と連携を深めるために、10月15日(木)に経営指導員研修会を開催し26名の参加者を、10月14日(水)と16日(金)には興能信用金庫見学会を実施し33名の参加者を迎えました。意見交換では、「こうした機会は大変有意義なものであり、効果的な企業支援に向けた新しい連携の方策を考えてみたい」という意見が多数寄せられました。

□新規採択事業の紹介

○NEDO 中小・中堅企業への橋渡し研究開発促進事業

3Dプリンタによる高剛性砂型作製技術と航空機用鋳造材の開発

共同研究機関: 谷田合金(株)

湾曲や分岐などを伴う複雑な中空流路を立体的に張り巡らせた航空機用補機部品の軽量ハウジングの開発を目的に、3D積層造形砂型技術により中子と一体化成形した鋳型と差圧鋳造技術を組み合わせ、複雑形状薄肉軽合金鋳物の試作・生産の迅速化を目指します。

□公設試験研究機関研究者表彰を受賞

機械金属部の舟木副部長が、「鋳造技術の高度化による中小企業の技術力向上支援」の功績が認められ、9月30日に指導功労者として、公益財団法人中部科学技術センターより会長賞を受賞しました。



□応用鉱物科学賞を受賞

電子情報部の豊田専門研究員が、「酸化物熱電変換素子および廃熱発電システムの応用鉱物学的開発」の功績が認められ、9月26日に日本鉱物科学会より応用鉱物科学賞を受賞しました。

